

ナ健公示 第 540 号
令和 5 年 9 月 6 日

公 告 書

令和 5 年度収入・支出決算及び令和 5 年度決算残金処分について

令和 5 年度収入・支出決算書及び令和 5 年度決算残金処分が、令和 6 年 8 月 26 日開催の第 122 回組合会において認定されたので、別紙のとおり公告いたします。

以上

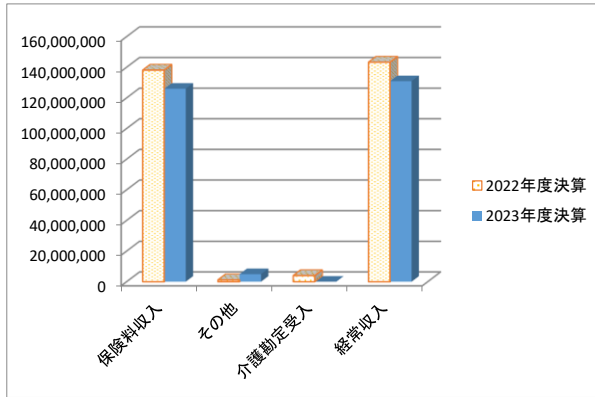
ナイガイ健康保険組合
理事長 市原 聡

2023(令和5)年度 決算・事業報告(一般勘定)

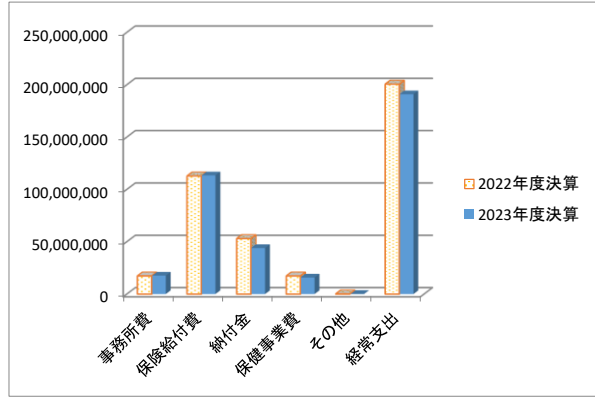
5857万円の赤字決算となりました。

2022年度との対比

【収入】



【支出】



【一般勘定】

(単位:千円)

		2022年度決算	2023年度決算	前年決算比
収入	保険料収入	138,138	125,959	▲ 12,180
	その他	1,165	4,931	3,766
	介護勘定受入	4,000	0	▲ 4,000
	収入合計	143,303	130,890	▲ 12,414
支出	事務所費	17,304	17,609	305
	保険給付費	112,808	113,393	585
	納付金	52,989	43,954	▲ 9,034
	保健事業費	17,278	15,773	▲ 1,504
	その他	144	141	▲ 2
	支出合計	200,522	190,871	▲ 9,651
	預貯金の取り崩し	▲ 53,663	▲ 58,578	▲ 4,915

2023年度は赤字ですので預貯金は5,857万円減額となりました。昨年度は、約5,366万円の減額でしたので、前年度決算より減額幅は増加しており、依然として財産は減少傾向にあります。

○収入について

母体の業績は回復しつつも早期退職による被保険者の減等により保険料収入は約1,218万円減少。

○支出について

納付金は約903万円の減額。2022年度と同様にコロナ感染に伴う高齢者医療費減少が主な要因。前期高齢者納付金が約1400万円。後期高齢者支援金が約2900万円。今後、納付金合計としては4500～6000万円程度で推移する見込み。

納付金推移

	合計	前期高齢者	後期高齢者	その他
2019年度	85,678	39,544	46,130	4
2020年度	75,938	21,727	54,209	2
2021年度	75,214	29,936	45,277	1
2022年度	52,988	19,142	33,845	1
2023年度	43,954	14,182	29,771	1

*前期高齢者納付金(対象者約1590万人、医療給付費約7兆円)とは
前期高齢者(65歳～74歳)がかかる医療給付費全体を各健保も等しく負担する制度

ナイガイ健保加入者調整率(4.57倍): $\frac{\text{全保険者平均の前期高齢者加入率}(14.85\%)}{\text{ナイガイ健保前期高齢者加入率}(3.583\%)}$

ナイガイ健保の前期高齢者給付費(医療費)に上記、加入者調整率で掛けた金額を概算額として納付し、2年前の確定額と相殺して納付する。このため、ナイガイ健保の前期高齢者給付費の増減が影響し前期高齢者納付金も乱高下することになる。

*後期高齢者支援金(対象者約1820万人、医療給付費約16.6兆円)とは

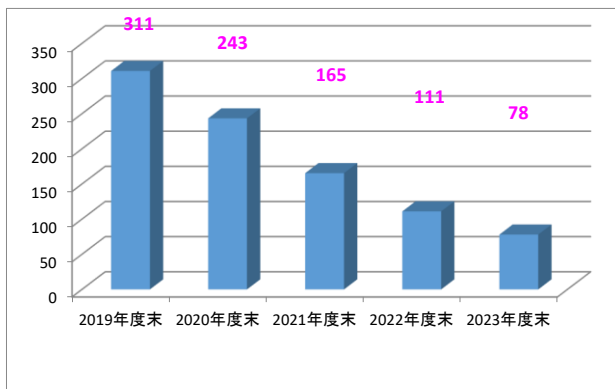
後期高齢者(75歳以上)が加入する医療保険制度。負担割合は後期高齢者保険料約1割、公費約5割、現役世代約4割。現役世代のうち健保組合は標準報酬総額に22.59%を掛けた金額を後期高齢者支援金として納付する。

保険給付費、保健事業費推移

	保険給付費	保健事業費	合計
2019年度	116,029	6,250	122,279
2020年度	111,009	32,368	143,377
2021年度	111,902	17,452	129,354
2022年度	112,808	17,278	130,086
2023年度	113,393	15,773	129,166

別途積立金の推移(5年間)

(単位:百万円)



2016年度より料率を79.02/1000から82.00/1000に上げたが、保険給付費、納付金の増加及び保険料収入の減少により別途積立金の減少傾向が続いている。保健事業の充実によって被保険者、被扶養者の健康増進を図りつつ、準備金として保有している286百万円と別途積立金の残高を考慮しながら、健保運営していく必要がある。

(参考 2023年度) 一般保険料率
健保組合: 98.151/1000 (平均保険料)
協会けんぽ: 100.000/1000

減少額 42 68 78 54

2023(令和5)年度 決算・事業報告(介護勘定)

令和5年度は、約578万円の黒字決算となりました。

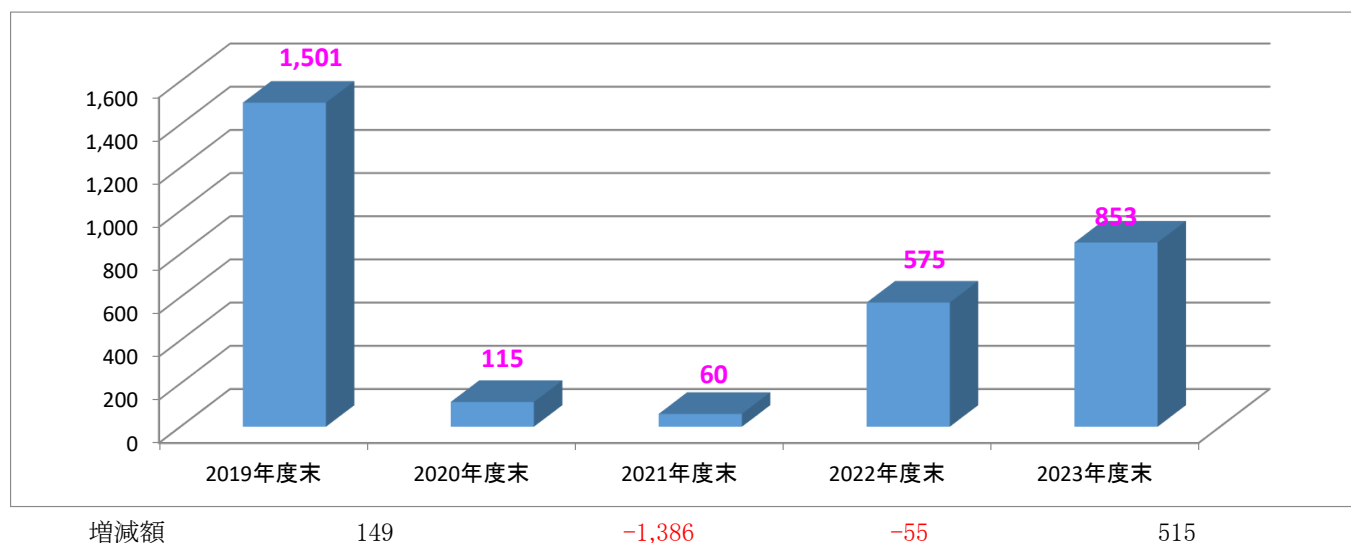
【介護勘定】

(単位:千円)

		2022(令和4)年度決算	2023(令和5)年度決算	前年決算比
収入	保険料収入	25,047	22,854	▲ 2,193
	準備金繰入金	0	0	0
	その他	0	0	0
	収入合計	25,047	22,854	▲ 2,193
支出	納付金	15,891	17,074	1,183
	その他	4,000	0	▲ 4,000
	支出合計	19,891	17,074	▲ 2,817
預貯金の取崩し及び積立		5,156	5,780	624

介護準備金の推移

(単位:万円)



平成26年度より料率を16,000/1000から18,000/1000に上げたことにより、順調に準備金が増加していたが、2020年度納付金の過剰申請で約1300万円増額(2022年度に返却)となった。

2020年度に準備金から全額負担する予定だったが、新型コロナによる収入減少により一般保険料からの借入(約52万円、2021年度返却)が発生した。

2021年度も同様に一般勘定から借入355万円が発生した。

2022年度は2504万円の収入に対し、支出は一般勘定への返済400万円を含めて1989万円となり、515万円の黒字決算、2023年度は2285万円の収入に対し、支出は1707万円となり、578万円の黒字決算となった。

(参考 2023年度:介護保険料率 健保組合:平均保険料 17,700/1000 協会けんぽ:18,200/1000)

2023(令和5)年度 決算残金処分

(一般勘定)

決算状況		決算残金処分内訳	
収 入	214,145,639 円	準 備 金	0 円
支 出	192,723,451 円	別 途 積 立 金	21,422,188 円
		繰 越 金	0 円
		財政調整事業繰越金	0 円
		そ の 他	0 円
差 引 残 金	21,422,188 円	計	21,422,188 円

(介護勘定)

決算状況		決算残金処分内訳	
収 入	22,854,951 円	準 備 金	2,780,729 円
支 出	17,074,222 円	繰 越 金	3,000,000 円
差 引 残 金	5,780,729 円	計	5,780,729 円